

保健師	28人(入会率33%)
助産師	38人(入会率78%)
看護師	1,183人(入会率62%)
准看護師	70人(入会率12%)

合計 1,319人(入会率50%)

2021年7月17日現在



広島県看護協会“廿日市支部会報”第38号

広島県看護協会 廿日市支部会員の皆様

NHO広島西医療センター 看護協会廿日市支部 支部長 黒田 智美

雲ひとつなく澄み切った空の下、吹く風も心地よく感じられる季節となりました。

廿日市支部会員の皆様におかれましては、お健やかに過ごしのことと存じます。

今年度より廿日市支部 支部長を拝命致しました黒田と申します。どうぞ宜しくお願い致します。

さて、昨年度はCOVID-19の感染拡大により、未曾有の災害ともいえる状況に陥りました。それと同時に日本国内の医療現場では逼迫した状況となり、現在もなお変異ウィルスとの戦いが続いているところです。ワクチン接種者も増加しつつありますが、感染拡大は未だ収束のめどが立たない状況です。

今まで当たり前に行っていた旅行や食事会など人とひとの交流も制限され、マスク装着は当たり前となりました。このまま相手の表情が見えず、人との関わりも淡白になっていくのではないかと心配になります。

現在は多くの方と集まる機会は困難な状況ではありますが、廿日市支部では感染拡大防止対策を取りながら、少しでも会員の皆様との交流が図れるよう支部役員一同努めてまいりたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

さて、今年度は東京オリンピックの開催で暑い夏が過ぎました。日々努力した結果によりメダルを獲得した人、惜しくもメダルを獲得できなかった人。いろいろな人たちの汗と涙にくぎ付けになりました。続いてパラリンピックが感染対策を強化しながら開催されました。スローガンは「超えろ、みんなで」この言葉は、私たち医療現場も共通していると思います。日々、感染リスクと戦いながらも、地域の方々の医療・健康を守り奮闘しています。今まさにこの感染という危機を乗り越えようとしている私たち。心に「超えろ、みんなで」の気持ちを持ち、廿日市支部の皆さんと一緒に頑張っていきたいと思っております。

これから季節は少しずつ秋めいてまいります。稲田も黄金色に波打ち、実りの秋を迎えます。私たち医療現場の頑張りが「感染収束の実」へと繋がることを願うばかりです。

今年度も廿日市支部では制限のある中、活動を計画しています。是非、皆様ご参加ください。お待ちしております。



研修報告 研修テーマ「コロナ禍での感染管理について」

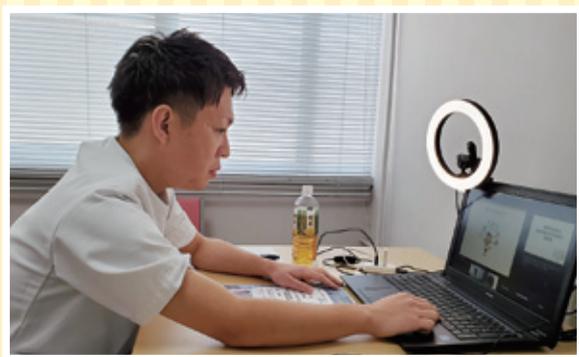
2021年7月4日、ZOOMでリフレッシュ研修を開催しました。

参加人数17人での小規模にはなりましたが、動画を含めてわかりやすく編集された講義内容は興味を持って聴講でき、あっという間の90分間でした。

講義終了後、受講者の方からは「とても勉強になった」「感染予防対策が日常生活や仕事の場面で活かそう」との感想を頂きました。

平本廉昂先生から次のようなコメントを頂きましたので、皆さん参考になさってください。

「自分自身を守りながら患者さんを守るために大切な感染対策のポイントとして、標準予防策の遵守、特に手指衛生の徹底やPPEの着脱、環境清掃を正しい方法で適切に行うことがとても重要になります。これは、新型コロナウイルス感染症特有の対応というわけではなく、日々の生活や患者ケアから行うことが大切です。日常生活においても多くの制限がかかり、現場においても通常時



以上の対応を強いられるなど、ストレスも多くなっている現状ですが、コロナを正しく恐れ、しっかりと健康管理をしながら十分に対策を取り、地域の病院、施設で協力しながらコロナ禍を乗り越えていきましょう！」

JA広島総合病院 看護科長
新田 克己

社会経済福祉の活動内容について



社会経済福祉委員会目標として、職場の活性化についての研修を行い、職場の人材育成や離職防止に役立てるとあります。

昨年度は、組織強化も含め、「災害に強い組織づくり」をテーマに、災害看護専門看護師 寺田 英子氏を講師に迎え研修会を開催しました。

活動報告・体験をもとに、廿日市地域での災害への取り組み、役割について講義であり、参加者からも、「改めて、廿日市地域での災害への取り組み、連携の重要性を認識できた」「災害における自病院の状態を把握し対応していく必要性を感じました」等の意見がありました。

災害時において、組織として、協会支部として、病院として、地域との関わりや役割を考えることができ、自部署および協会支部としての取り組み、役割を改めて考えることができた研修でした。

現在コロナ禍において、研修の延期や中止が続いていますが、支部活動として、職場の活性化・健全で安全な職場作りを目指した研修実施や活動に努めていきたいと思っております。

大野浦病院 看護部長補佐
看護協会廿日市支部 社会経済福祉担当
正木 浩二

廿日市新型コロナ感染症情報

廿日市人口 (R3年8月1日現在) 116,913 人

廿日市コロナ陽性者数 (R3年9月2日) 596 人

新型コロナワクチン接種状況 (R3年9月2日)

区分	接種対象者(人)	1回目		2回目	
		接種者(人)	接種率(%)	接種者(人)	接種率(%)
65歳以上	37,147	32,718	88.1	32,076	86.3
12～64歳	68,886	29,128	42.3	16,388	23.8
合計	106,033	61,846	58.3	48,464	45.7

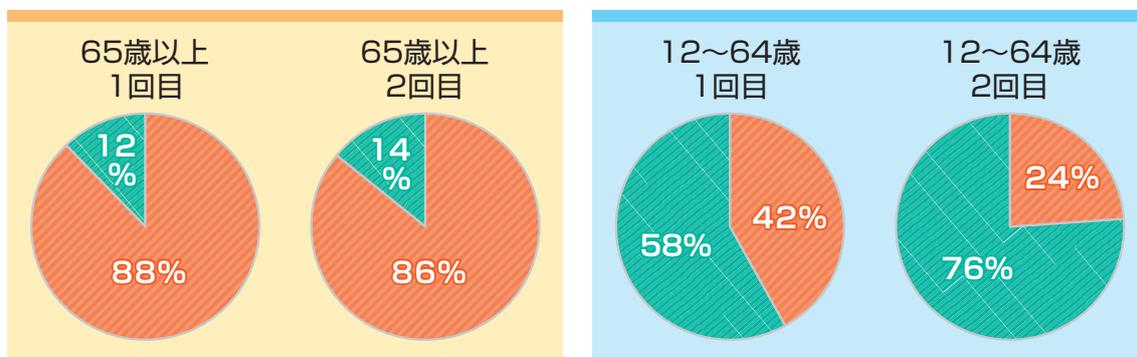
医療者	接種人数
1回目	121,399
2回目	115,926
合計	237,325



年齢別接種率

■ 接種率 ■ 未接種率

(R3年9月2日現在)



令和3年9月2日現在の廿日市人口に対して、新型コロナワクチン接種率は以上の通りになります。

まだ新型コロナについては分からないことが沢山あります。必要以上に恐れる必要はありませんが、ワクチン接種をしたからといっても引き続き感染防止対策は行っていかなければなりません。蔓延防止対策は必要ですが、ストレスが溜まってしまっている方も沢山いらっしゃると思います。今までと同様のストレス発散方法はできない方もいらっしゃると思いますが、どうぞ体調を崩されないよう心と身体のケアを十分にしてください。みなさんの努力がいつか報われる日がくることを心から願います。

社会医療法人清風会 廿日市記念病院 広報
佐伯 尚美

支部活動報告

2021年度 廿日市支部活動と役員の役割分担

事業内容	担当役員	開催日
令和3年度支部総会	総務	4月18日(日)
第1回支部役員会(引継ぎ)	総務	5月14日(金)
第2回支部役員会	総務	6月25日(金)
リフレッシュ研修会	教育	7月4日(日)
進路相談会	総務	7月28日(火)(中止)
第3回支部役員会	総務	8月20日(金) (書面会議)
第1回施設代表者会議		
会員交流会(メンタルヘルス研修会)	総務	8月22日(日)(延期)
第4回支部役員会	総務	9月17日(金)(web)
社経研修会	社経	10月(延期)
組織強化研修		
第5回支部役員会	総務	11月26日(金)(予定)
第2回施設代表者会議		

事業内容	担当役員	開催日
救急蘇生研修会打ち合せ	教育	11月27日(土)(予定)
救急蘇生研修会	教育	12月11日(土)(予定)
看護研究発表会	教育	2022年 2月13日(日)(予定)
第6回支部役員会	総務	2022年 2月13日(日)(予定)
第7回支部役員会	総務	2022年 3月4日(金)(予定)
第3回施設代表者会議		
令和4年度支部総会	総務	2022年 4月17日(日)(予定)
総会後のリフレッシュ研修会	教育	

●まちの保健室

事業内容	開催日
(イベント型) 健康を守る集い	10月(中止)
(イベント型) 廿日市市みんなの健康展	10月18日(月)~29日(金)
(常設型) まちの保健室	毎月第4(火)(予定)

役員紹介

理事	藤本 七津美	JA広島総合病院 看護部長
----	--------	---------------

●支部役員: 10名

新任	支部長	黒田 智美	NHO広島西医療センター 看護部長
新任	副支部長 (看護連盟廿日市支部長兼務)	馬場 律子	ハートフルアマノリハビリテーション病院 看護師長
新任	幹事(総務)	田中 英美	NHO広島西医療センター 副看護部長
新任	幹事(財務)	徳永 恵子	NHO広島西医療センター 看護師長
新任	幹事(教育)	宗内 桂	日本赤十字広島看護大学 講師
新任	幹事(広報)	佐伯 尚美	廿日市記念病院 看護副主任
継続	副支部長	平岡 幸枝	廿日市記念病院 看護副主任
継続	幹事(地域看護活動)	吉本 真由子	阿品土谷病院 看護師長
継続	幹事(社経)	正木 浩二	大野浦病院 看護部長補佐
継続	幹事(教育)	新田 克己	JA広島総合病院 看護科長

[発行日] 2021年9月30日発行

[発行所] 公益社団法人広島県看護協会 廿日市支部
〒738-0033 廿日市市串戸3-31-5 プティ・リビエール101
TEL: 0829-30-7222

[発行責任者] 黒田 智美

